



# みなみの風

坂下南小学校  
学校だより  
NO. 114  
R7. 4. 10  
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

## 坂下南小の“学校力”は？

あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶんの三つの観点で、4月現時点での学校力について、私が自己評価した結果が右のグラフです。

あいさつ ..... 80点

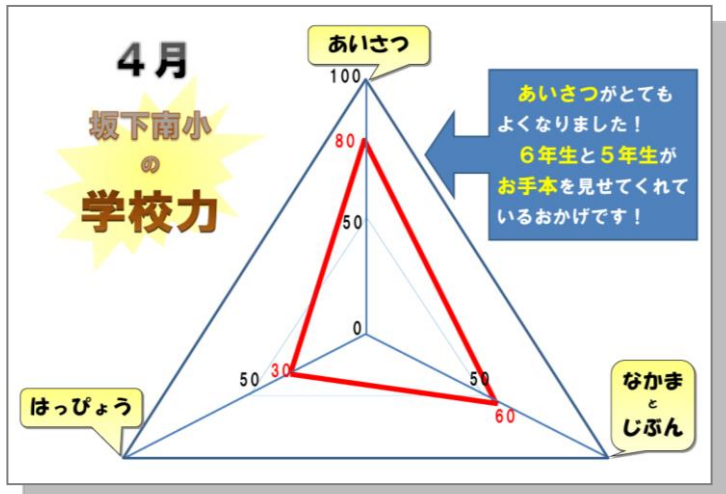
はっぴょう ..... 30点

なかまとじぶん ..... 60点

あいさつについては、上級生が良い手本を示してくれ、全校生に気持ちの良いあいさつが広がってきました。今後は、より丁寧で気持ちが伝わるあいさつができるよう指導してまいります。

はっぴょうについては、今年度の課題です。授業において、発言や発表の仕方について具体的に指導し、学校生活のあらゆる場面で、授業で身に付けた発表の力を発揮させていきたいと考えています。

なかまとじぶんについては、「校長室暗唱チャレンジ！」の日本国憲法前文への取組で見せたような、仲間を応援する姿、互いに切磋琢磨する姿がより見られるよう努めてまいります。



### ◆シリーズ②◆ 枠組みやルールを機能させる親の努力

枠組みやルールがはっきりしたら、よほどのことがない限り日常生活で守れるようにしましょう。枠組みをキープするには親の努力も必要です。もし、子どもが親子で設定した枠組みからはみ出したり、決められたルールを守らなかったりしたときには、それによって起こってくる当然の結果を体験させます。ひとつの例をあげましょう。

#### 《朝、時間になっても起きてこない》



うるさく起こしたり、起きてこないと言ったりすることはありません。寝過ごしてご飯を食べる時間がなければ、空腹を体験してもらいます。

時間に起きてこなかったのは子ども自身ですから、その結果を体験させるのです。

空腹でつらい思いをして困れば、子どもは考えます。時間通りに起きて食事をし、快適に過ごすことを子ども自身が学ぶことが大切です。